

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川キララホール
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	所管課	生涯学習スポーツ課
指定管理者	名称	秋川キララホール運営共同事業体
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	業務内容	<p>「設置条例」及びあきる野市民文化ホールの設置及び管理に関する条例施行規則に基づいて次の業務を行うものとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化ホール及びこれに附属する設備の使用に関すること。 2 市民の文化活動を推進するための事業に関すること。 3 文化ホール及び附属設備等の維持管理に関すること。 4 あきる野市教育委員会が必要と認める事業に関すること。 5 その他指定管理を行う上で必要な業務に関すること。
ホームページURL		http://akigawa-kirarahall.jp/
指定期間		平成25年4月1日から平成30年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館等日数(日)	301	306	308	306	
利用者(来客者)数(人)	63,258	71,513	75,007	68,551	
前年度比(人)		8,255	3,494	△6,456	
前年度比(%)		113.0	104.9	91.4	
利用料金(売上) 合計(千円)	20,964	19,165	22,256	18,937	
前年度比(千円)		△1,799	3,091	△3,319	
前年度比(%)		91.4	116.1	85.1	

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入	指定管理料	68,348	68,571	68,930	69,126	
	使用料収入 (売上)	20,964	19,165	22,256	18,937	
	主催事業収入	9,276	7,515	13,269	11,953	
	自主事業等収入	8,069	9,904	10,110	10,333	
	共催事業収入	341	—	—	3,309	
	その他の収入	1,592	2,344	3,065	2,502	
	計	108,590	107,500	117,630	116,160	
支出	人件費	37,753	33,688	33,390	34,808	
	施設維持管理費	29,685	28,674	27,517	25,755	
	運営管理費	30,299	30,050	28,859	29,920	
	自主事業関係費	13,711	14,514	15,250	16,684	
	その他の支出	—	—	—	—	
	計	111,449	106,927	105,016	107,167	
収支(収入－支出)		△2,859	573	12,615	8,993	

※利用料金及び使用料収入については平成28年度内のホール使用について計上している。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
ホール利用者へ施設に関するアンケートと、主催・自主事業の内容についてのアンケートを実施しました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・2階男性トイレ、小便器の水洗が使えないとのご指摘があり、自動センサーの交換を実施しました。 ・施設利用者からスタインウェイBの響き方が足りないという指摘がありました。調律そのものには問題なく、当日の環境等で微妙に変わることを説明しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
音楽に親しみの持てるまちづくりの一環として、「館長のおもてなし」と称したクラシック入門講座を2回実施したほか、無料で気軽に聴けるエントランスコンサートを5回実施しました。また、レジデンシャル・アーティストの幅広い活動にも取り組み、橋本夏季氏による多摩川幼稚園でのアウトリーチコンサートを開催したほか、市民育成事業の一環として関裕子氏によるピアノワークショップを実施し、音楽文化の創出を図りました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
冷暖房や照明のオン・オフによる節電の結果、光熱水費は昨年よりも約12%の削減となりました。その他、リソグラフ（印刷機）の契約を見直した結果、事務機器等借上料を約51%削減することができました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
平成28年度の使用料収入は、平成27年度よりも330万円ほど減少しましたが、事業については3公演が完売となったほか、共催事業を2本実施し、事業収入も過去4年間の中で最高額となりました。支出については光熱水費の削減を一層推し進め、施設維持管理費を抑えることができました。運営管理費と自主事業関係経費が増加しているのは、出演料に関する関係経費が増加したためです。今後もさらに身近に感じられるホールづくりを目指し、魅力ある公演と、広報宣伝活動に努めます。また、アウトリーチやワークショップ等、地域に根差した取組を継続して実施し、ホールと市民が共同で作る音楽の街づくりを目指してまいります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
無料のエントランスコンサートの実施のほか、アウトリーチコンサートも開催し、今年度も引き続き市民への音楽鑑賞の機会の拡大に努めており、市民サービス向上への取組が評価できます。また、レジデンシャル・アーティスト関氏によるワークショップ等により、市内の音楽文化の創出にも貢献しています。	
経費削減の取組	
節電の取組の成果として、光熱水費の削減が実施できています。また、契約の見直しの結果、事務機器等借上料の大幅な削減が実施できています。今後も引き続き節電等に取り組み、経費を削減するよう努めてください。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
使用料収入については、減少しているものの、3公演が完売となり、事業収入が過去最高額となっていることは評価できます。券売の振るわない公演については、券売数向上のため、状況に応じた広報宣伝活動や計画的な情報発信を行うよう努めてください。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。